健康経営宣言

JAL エアテックは、「安全と健康は経営基盤である」を経営目標に掲げ、空港インフラを担うスペシャリストとして、航空事業の安全、発展を支えるとともに、広く環境インフラ、社会インフラを支えるスペシャリストとして社会の進歩発展に貢献し、お客さまに一番に選ばれる会社を目指しています。その達成のためには、社員が健康で明るく元気に、働きがい・満足感を持って生き生きと働ける職場を作ることが大前提です。

私は、健康経営責任者として先頭に立ち、社員の健康の保持・増進活動、健康づくりを全力で推進していくことをここに宣言いたします。

株式会社 JAL エアテック 代表取締役社長

森本　健

健康推進活動

JAL エアテック中期経営計画における「安全・安心な職場づくり」の取り組みと、JAL グループ健康推進活動「JAL　Wellness2025」に基づき以下の施策を推進します。

1. 各職場に Wellness リーダーを配置し、Wellness リーダーが渦の中心となって社員の健康増進に取り組んでいきます。

2. JAL Wellness の「生活習慣病」「がん」「メンタルヘルス」「たばこ対策」「女性の健康」の、５つを重点項目として掲げ、社員の健康意識向上の取り組みを行います。

3. 健康診断受診率 100%を継続します。また、健康診断結果をもとにした生活習慣病などの疾病の高リスク者に対する生活改善に関する働きかけ等を行っていきます。

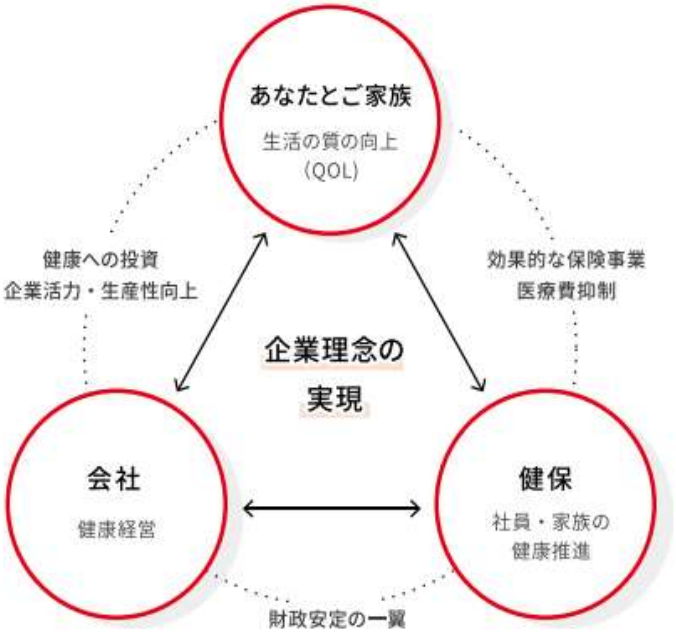
4. D&I（ダイバーシティーインクルージョン）の実現に向けた取組として、より働きやすい職場環境作りを行っていきます。

JAL AIRTECH

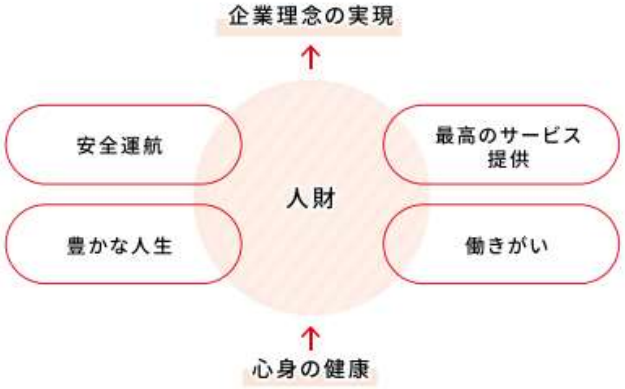
JAL エアテック健康経営推進体制

JAL Wellness 宣言

JALグループ企業理念の実現のためには「心身の健康づくり」が不可欠との認識のもと、社員、会社、健保が一体となって健康づくりに取り組みます。



JAL グループの推進する健康経営の 4 つの目的



JAL Wellness 2025 重点項目